

細胞制御学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Maruyama J, Kobayashi Y, Umeda T, Vandewalle A, Takeda K, Ichijo H, Naguro I: Osmotic stress induces the phosphorylation of WNK4 Ser575 via the p38MAPK-MK pathway. *Sci Rep* 6, 18710, 2016 (IF: 5.228)
2. Sekine S, Yao A, Hattori K, Sugawara S, Naguro I, Koike M, Uchiyama Y, Takeda K, Ichijo H: The ablation of mitochondrial protein phosphatase PGAM5 confers resistance against metabolic stress. *EBioMedicine* 5, 82-92, 2016 (IF: unreleased)
3. Hattori K, Naguro I, Okabe K, Funatsu T, Furutani S, Takeda K, Ichijo H: ASK1 signaling regulates brown and beige adipocyte function. *Nat Commun* 7, 11158, 2016 (IF: 11.329)
4. Ozaki KI, Awazu M, Tamiya M, Iwasaki Y, Harada A, Kugisaki S, Tanimura S, Kohno M: Targeting the ERK signaling pathway as a potential treatment for insulin resistance and type 2 diabetes. *Am J Physiol Endocrinol Metab* 310, E643-E651, 2016 (IF: 3.825)
5. Furuoka M, Ozaki K, Sadatomi D, Mamiya S, Yonezawa T, Tanimura S, Takeda K: TNF- α induces caspase-1 activation independently of simultaneously induced NLRP3 in 3T3-L1 cells. *J Cell Physiol* 231, 2761-2727, 2016 (IF: 4.155)
6. Tanimura S, Hashizume J, Arichika N, Watanabe K, Ohyama K, Takeda K, Kohno M: ERK signaling promotes cell motility by inducing the localization of myosin 1E to lamellipodial tips. *J. Cell Biol.* 214, 475-489, 2016 (IF: 8.717)

A-c

1. Takeda K, Sadatomi D, Tanimura S: Roles of mitochondrial sensing and stress response in the regulation of inflammation. In *Chronic Inflammation: Mechanisms and Regulation*, eds Takatsu K, Miyasaka M. (Springer Japan) pp. 299-308, 2016

B 邦文

B-e

1. 谷村 進、河野 通明、武田 弘資：SH3P2はMyosin 1Eを細胞質に止めることで細胞運動を抑制する。第75回日本癌学会学術総会 プログラム・講演要旨集 P-1083, 2016
2. 武田 弘資：ミトコンドリアから発信される脱リン酸化シグナルによるストレス応答制御。第39回日本分子生物学会年会 Web 要旨集 1AS16-1, 2016
3. 貞富 大地、中塩屋 和孝、間宮 彩華、亀山 由佳、本田 詩乃、谷村 進、武田 弘資：細胞外 ATP による NLRP3 インフラマソーム活性化におけるミトコンドリアの役割。第39回日本分子生物学会年会 Web 要旨集 1P-0288, 2016
4. 本田 詩乃、貞富 大地、中塩屋 和孝、谷村 進、武田 弘資：STAT3 阻害剤 WP1066 は NLRP3 インフラマソーム活性化にともなうマクロファージの細胞死を抑制する。第39回日本分子生物学会年会 1P-0414, 2016
5. 谷村 進、有近 直也、河野 通明、武田 弘資：ERK 経路は Myosin1E の葉状仮足移行を誘導することで細胞運動を促進する。第39回日本分子生物学会年会 Web 要旨集 3P-0319, 2016
6. 有近 直也、鳥羽 由希子、武田 弘資、谷村 進：細胞膜変形タンパク質 SNX9 とアクチンモーターMyosin1E の相互作用。第39回日本分子生物学会年会 Web 要旨集 3P-0320, 2016

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	1	1	1	1	7

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
武田弘資・教授	評議員	日本生化学会
武田弘資・教授	評議員	日本生化学会九州支部
武田弘資・教授	評議員	日本癌学会
武田弘資・教授	評議員	口腔病学会

武田弘資・教授	Associate Editor	Journal of Biochemistry
武田弘資・教授	Editorial board member	Journal of Signal Transduction
武田弘資・教授	Editorial board member	Journal of Oral Biosciences
武田弘資・教授	Editorial board member	Scientific Reports
武田弘資・教授	世話人	日本プロテインホスファターゼ研究会
尾崎恵一・ 准教授	評議員	日本がん分子標的治療学会

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
武田弘資・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（B） ミトコンドリア内タンパク質リン酸化シグナルによるストレス応答機構の解明
武田弘資・教授	ライフサイエンス振興財団研究助成金	代表	慢性炎症を防ぐミトコンドリア機能の解明
武田弘資・教授	武田科学振興財団 生命科学研究助成	代表	ミトコンドリアストレスの感知と応答機構の解明
武田弘資・教授	内藤記念科学奨励金 研究助成	代表	ミトコンドリア局在プロテインホスファターゼから探る新たなストレス応答機構
尾崎恵一・ 准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） がん細胞の HDAC 阻害剤感受性を規定する分子機構の解明
谷村 進・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） Myosin1E による新規細胞運動制御機構の解明（～2016年3月）
谷村 進・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） Myosin1E を核としたタンパク質複合体による細胞運動制御機構の解明（2016年4月～）
谷村 進・助教	長崎大学	分担	第二期重点研究課題 ゲノム不安定性と発がん分子メカニズムの基礎研究拠点形成